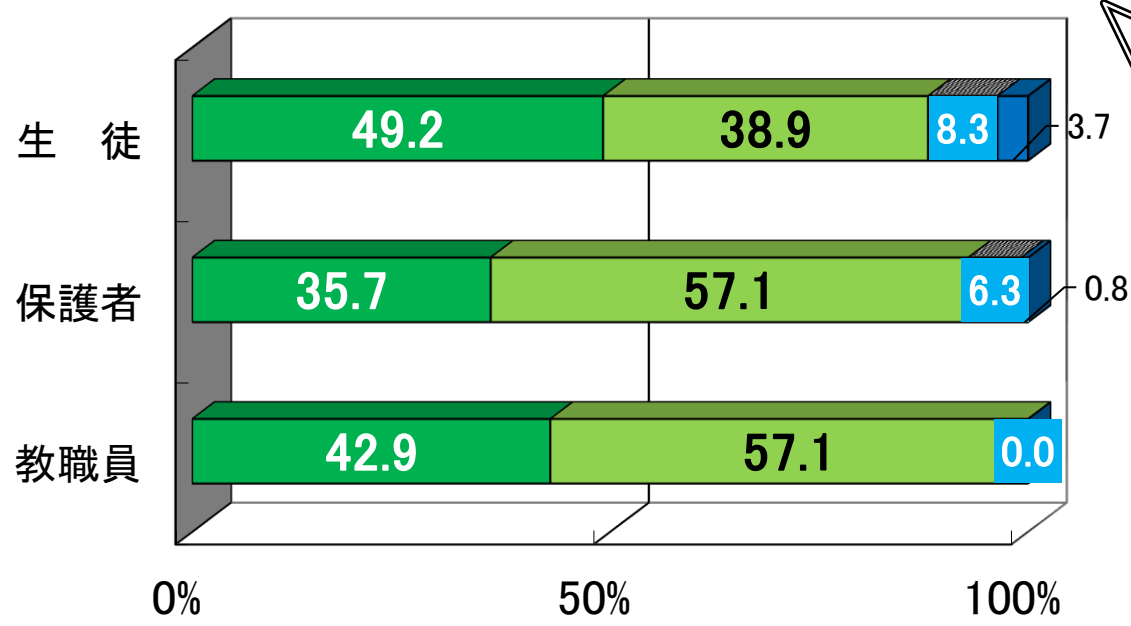


＜ 令和4年度「学校評価アンケート」の結果について① ＞

【グラフの見方】 **そう思う** **だいたいそう思う** **あまり思わない** **そう思わない**
 (本校HPではカラーでご覧いただくことができます)

※各設問は、生徒には「自分自身・学校」、保護者には「お子様・学校」、教職員には「本校としての指導」について聞いています。

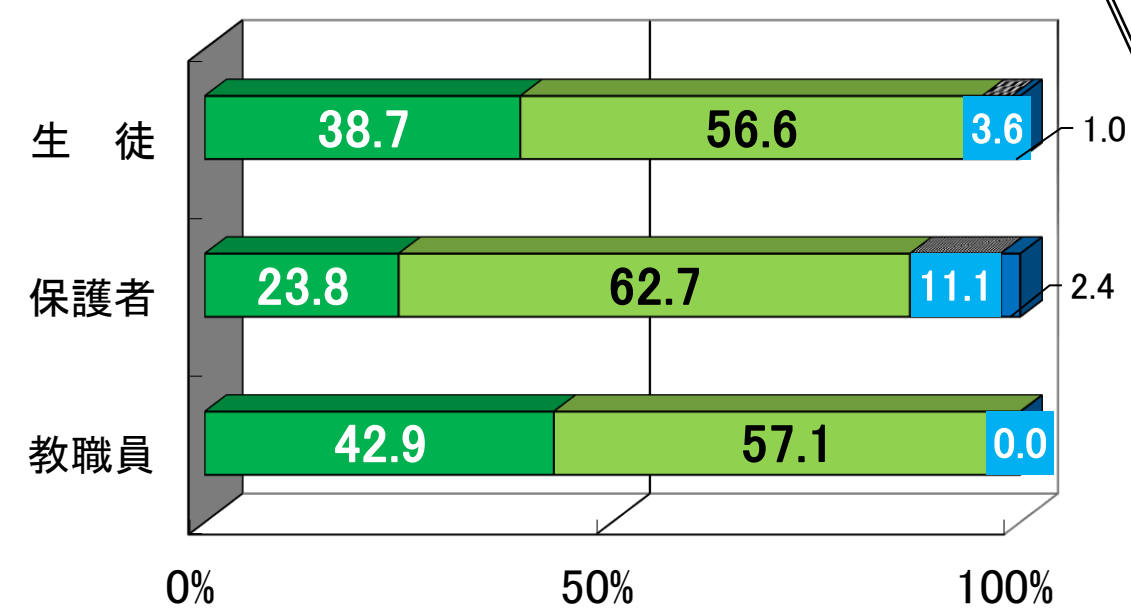
1 【改】安心して楽しく過ごすことができる



◆昨年度、生徒・保護者共に「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせて9割以上という肯定的な回答でしたので、今年度は「楽しく」を加えました。

※保護者は昨年度と同傾向でしたが、生徒は「そう思う」が6%減り、他の回答が約2%ずつ増えました。生徒全員が伸び伸びと充実した毎日を過ごし、保護者の皆様にもお子様を安心して託していただくことができるように努めてまいります。来年度は、同学年はもとより、異学年や地域の方との学び合いや交流の機会も増やすことができると思います。安心・安全に配慮しながら教育活動を活発に展開してまいります。

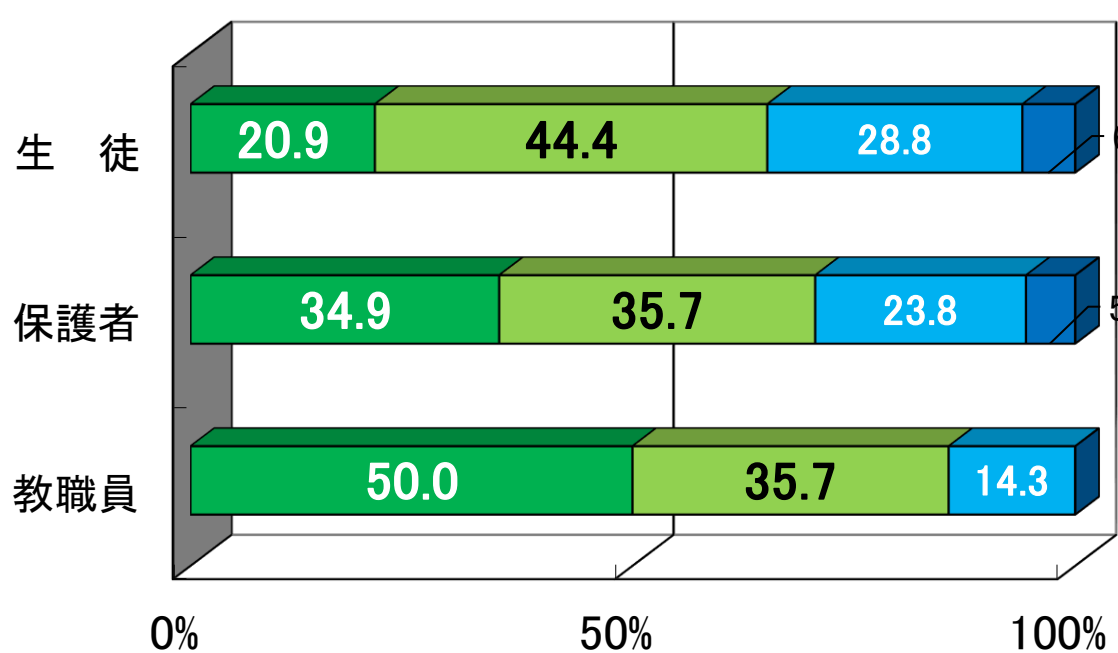
2 わかりやすい授業である



◆昨年度と比較し、生徒の「そう思う」が10%以上、「だいたいそう思う」が5%以上、高くなりましたが、保護者は「だいたいそう思う」が7%、「あまり思わない」が5%高くなりました。

※今年度は、保護者の皆様に授業参観の機会を限定せざるを得ませんでした。本校では、この間、教職員が意欲的に校内で研修を進めてまいりましたので、来年度は、保護者をはじめ多くの皆様の目によるご指摘をいただきながら、私達が最も大切にしなければならない「よりよい授業づくり」のために、研修の一層の充実に取り組んでまいります。

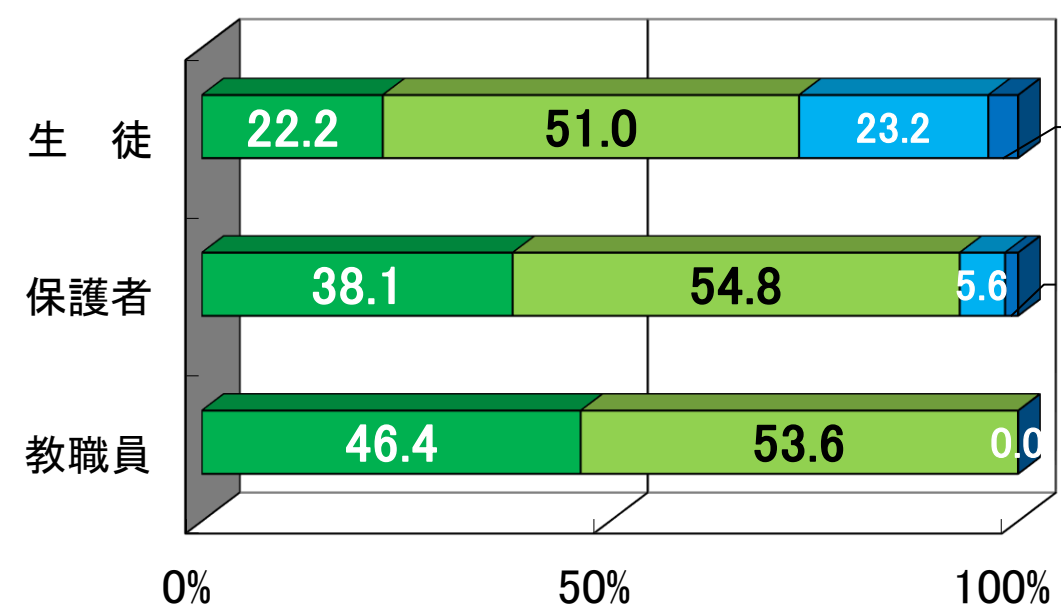
3 【新】自分から進んで学習している



◆目標の「自ら学び」と重点の「高め合う」を意識して、新たに加えた設問です。ここ数年の全国学力・学習状況調査の結果からも、「家で学習する時間」は、全道・全国平均より短い傾向が続いています。

※今年度は、教職員の取組(意欲を高める授業改善、効果的な課題の提供)に加えて、学芸常任委員会の生徒が家庭学習ノートの提出を呼び掛けています。今後も、保護者の皆様にご協力をいただきながら、校区の小中学校と連携を深めたり、毎日持ち帰っているタブレット端末の一層の活用を視野に入れたりしながら、新たな取組を検討してまいります。

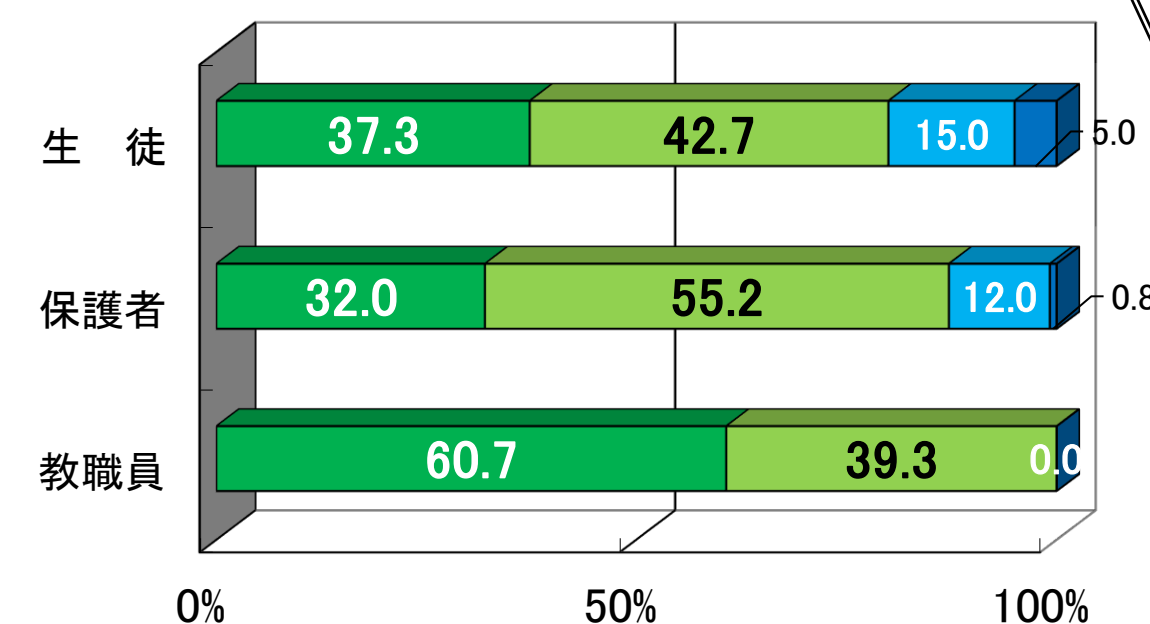
4 【新】思いやりの気持ちが育まれている



◆目標の「思いやりのある人間」と重点の「認め合う」を意識して、新たに加えた設問です。生徒の自己評価は、保護者や教職員の目に映る姿より、低い傾向が見られました。

※本校では、道徳の時間の充実はもとより、生徒会の「Best Favor」(互いのよさを認め合う活動)や、総合的な学習の時間に校門前の花壇整備等を行っています。今後は、一人一人が多様な人々と関わる経験をとおして、自己有用感をより一層高め、自分のよさや持ち味を自信をもって表現できるように、教育活動を工夫改善してまいります。

5 【新】安全や健康に気をつけている



◆目標の「心身を鍛え」と重点の「安心・安全を守り」を意識して、新たに加えた設問です。生徒の20%に否定的な傾向が見られました。

※今年度も一時期、学級閉鎖が続いたことや、仲間や先輩・後輩との交流や体を動かす機会を十分に確保できなかったことが影響していると思われます。今後は、お子様の安全と健康を守るために、校内の危険個所の普段の確認・見直しや交通安全を含めた安全指導の徹底、マスク生活の緩和に応じて、心身の健康を増進するための教育活動を展開してまいります。